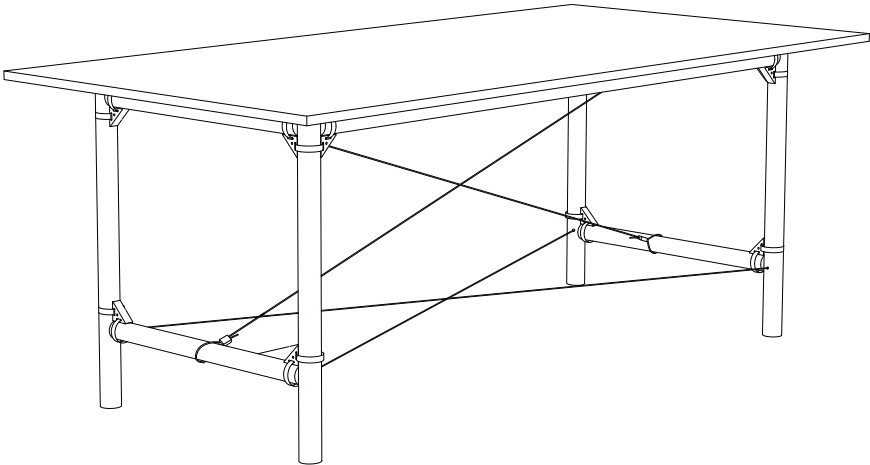
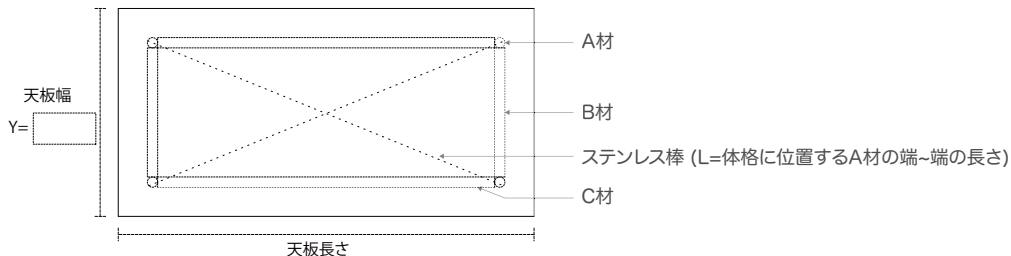
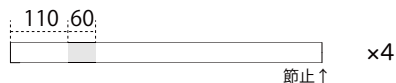






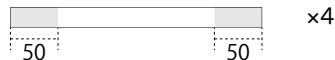
○竹材

A材
L=700

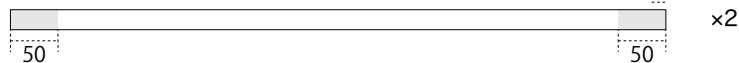


※図中  の中に節がないほうが良い

B材
BL=Y-(140+A材の直径)
=



C材
CL=X-(140+A材の直径)
=



○ジョイント

×12



おにぎり

×4



天板
(必要であれば)

○その他

×4



リースロック

3m程度



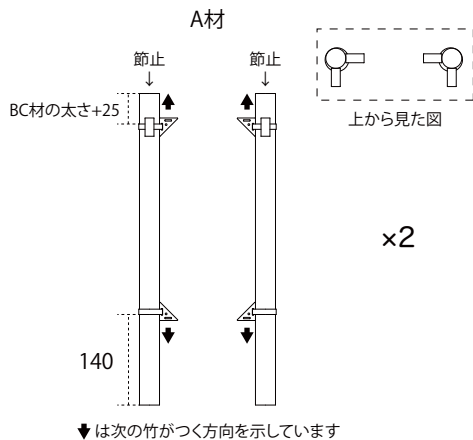
ワイヤー

×2

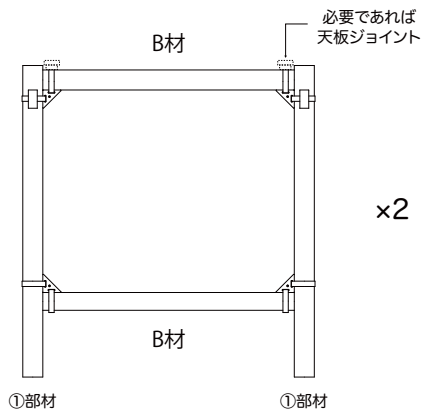


ステンレス棒
(長さは机の対角線程度)

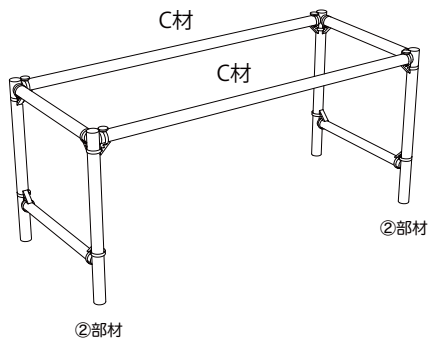
①



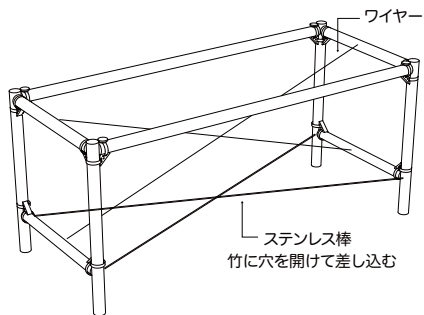
②



③



④



付け方は次ページ参照

○参考

天板サイズ 100cm×72cm

竹(太さ45φ程度) - A材L=70cm, B材L=50cm C材L=75cm / ワイヤー1.2m / ステンレス棒 100cm



天板ジョイントがない場合は
柱の上に天板が乗るため、
柱の長さをきいに揃える必要がある。

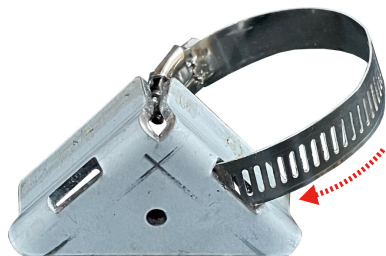


ステンレス棒は竹に穴を開け
対角にある柱に同様に差し込む。



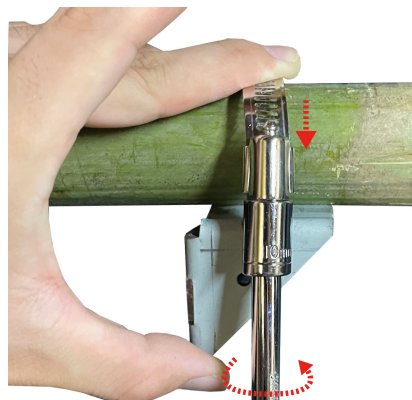
ワイヤーはB材にパッテンになるように掛ける。
B材に掛かっていれば位置はどこでも良い。

○ジョイントの使い方



ジョイントの穴にバンドを通す。

※バンドの先端等に凹凸があり、バンドが通りにくい時は、
ペンチで平にすると通りやすくなる。



バンドの先端をネジ穴に入れてから、
ドライバー等を回し、バンドを締める。

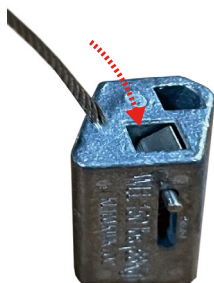


ある程度バンドが締まったところで、
ジョイント裏側にネジを回して締めると
完成形の見た目がきれいになる。

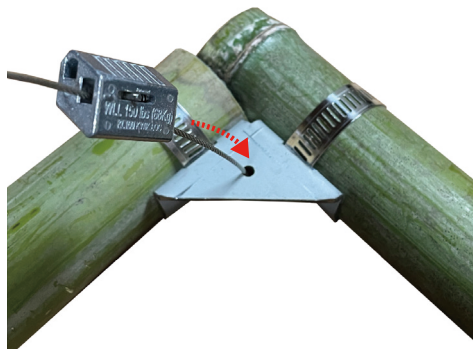


ジョイントもう一方にも同じように
竹を取り付けて完成。

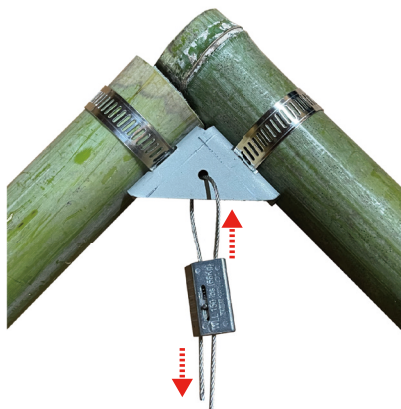
○リズロックの使い方



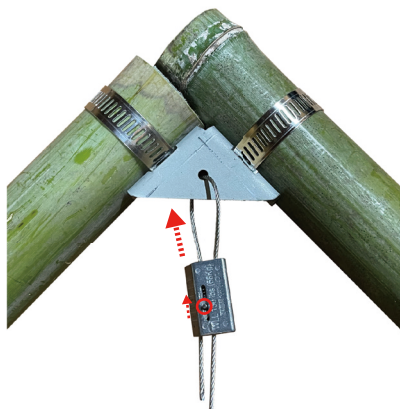
リズロックの穴の中に面がある一方にワイヤーを通す。



ジョイントの穴にワイヤーを通す。



ジョイントを通したワイヤーを再度リズロックに通し、長さを調整する。



ワイヤーを逆方向に動かしたい時は、リズロックのボタンを上になげながらワイヤーを引っ張る。